

令和7年度 第2回 学校運営協議会 議事録

司会・記録 教頭 河村

日時	: 令和8年2月9日(月) 9:30~11:20
出席者	: 川田 政美 加納東自治会連合会 会長 高木 裕 加納東公民館長 多治見美幸 加納東青少年育成市民会議 会長 棚原 美歌 加納東主任児童委員 大寶 祥子 お田植踊り指導者 小森 龍二 日本プラネタリウム協議会監事 岐阜天文台評議員 元岐阜市科学館館長 村松 祐子 加納小学校 PTA 会長代理 副会長 藤井 佐由美 加納幼稚園 園長 岩佐 優 加納小学校 校長 河村 泰代 加納小学校 教頭 (地域コミュニティ担当) 寺澤 浩平 加納小学校 教務主任
傍聴者	: 宮原 慶介 岐阜大学教育学研究科 (関ヶ原小学校所属)
欠席者	: 村山 邦博 加納中学校 校長

(敬称略)

1 校長挨拶

2 学習参観

- 3・4・5部(学活)・4の1(理科)・1の1(算数)・1の2(算数)
- ・2の1(国語)・2の2(国語)・4の2(算数)・3の2(図工)
- ・3の1(KD)・5の1(社会)・6の1(社会)・5の2(音楽)
- ・6の2(体育)の順にご案内

3 協議

(1) 本年度振り返り・次年度展望(校長)

- 年度当初に掲げた重点事項は概ね達成。大きな行事も終了し現在は落ち着いた学校運営状況。
- オペラ学習は総合の学びと連動し高い評価。児童が主体的に役割を果たし成長が顕著。
- 児童会組織改革により、リーダー性が向上。大人にも堂々と自分の考えを伝える姿が育っている。
- **幼小連携(加納幼稚園)**の学びが低学年指導に活かされ、子どもの個性を伸ばす土台が整ってきた。

- 市の「学校風土アンケート」では、市平均を上回る項目が多いが、学級内の安心感は改善が必要。

(2) 学校評価について（教頭）

児童・保護者アンケート

- 「楽しく通っている」児童 95%、保護者 97% と高評価。
- 学校への信頼度も 95%超。
- 改善要望として、①保護者連携、②個別配慮 に関する課題が指摘。

教職員アンケート

- 子どもへのこだわりある指導に自信あり。一方で「挨拶の質向上」を課題として認識。

岐阜市教育委員会重点への対応

1. 子ども主体の教育課程編成
 - 児童会改革、5大行事の子ども企画化で主体性が育成。
2. コミュニティ・スクールと小中一貫の推進
 - KD（加納ディスカバリー）を核として地域学習が深化。
 - 幼小連携協議会を毎月開催。
3. 働きがいある学校づくり
 - 会議精選、学年主任会の充実、OJTで職員の対話と協働が増加。
4. 安心・安全な学校づくり
 - いじめ対応は未然防止と即時対応。
 - PTAと連携し、睡眠・デジタル活用の講演会。
 - 地域防災訓練・通学路改善ワークショップへ参加。
5. 美しい環境整備
 - 児童の縦割り清掃充実。職員も見えない所を整える意識で環境向上。

(3) 次年度（案）について（教務主任）

■40分授業／午前5時間制の導入案

45分→40分にすることで、

1日30分の「加納タイム」を創出。

目的（6点）

1. 授業力向上
 - ICT活用、単元を貫く学びで質保証。
2. 生活習慣の改善
 - 給食が遅くなるため、朝食指導→早寝早起きを定着。
3. より良い人間関係の構築
 - 昼休み+加納タイム=65分で遊び・係活動を充実。

4. 地域・特色ある教育活動の深化

- KD で地域学習により深く取り組む。

5. 個別最適な学習支援

- 苦手な子への補充、得意な子の発展課題など柔軟に対応。

6. 体験活動の充実

- 加納タイム+6 時間目=70 分で、クラブ・委員会・講演等を拡充。

(4) 質疑・意見交換 (要点)

【質問】

- 「学校が楽しい (95%)」と「安心できる居場所の低さ」の乖離について (川田会長)
- 40 分授業と中学 50 分授業の接続への懸念 (小森委員)

【主な意見・感想】

- 児童の主体的学び・成長を高く評価 (多数)
- 空席の多さから不登校対応を質問 →
→ 在籍の 1.5%。学校とのつながり維持、必要に応じ外部機関と連携。
- 地域との連携活動 (ラジオ体操・ウォークラリー等) が子どもに好影響 (多治見委員)。
- KD の深い学習、オペラの「一人一役」、聞く姿勢の良さなど称賛。
- 40 分授業で教員の負担増を懸念する声も。
- 幼小連携、先生方の前向きな姿勢、学校風土の良さを多方面から高評価。

(5) 議決

議事について賛成 11 名 → 可決

(6) 校長挨拶

- 多様な意見に感謝。
- 40 分授業など来年度の方向性は、
「子どもの利益最優先」で職員と検討を続ける。
- 教職員が意欲にあふれ、挑戦する姿勢が強い。
- 今後も地域とともにより良い学校を目指す。